
Azure full moon ~ ソライロマンゲツ ~

刻城 黒徒

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

Azure full moon ソライロマンゲツ

【Nコード】

N7018J

【作者名】

刻城 黒徒

【あらすじ】

蒼い満月が浮かぶ夜。

その下で起こった殺人劇。

（前書き）

前書き。

初めまして。

ゝ 視点無し 〵

「アハハハハハハハハハハハハハハハハハ！」

赤い月の下。美しく飾り立てられたバルコニーで、血にまみれた少女は嗤う。両手には血に彩られたナイフ。

「アハハハハハハハハハハハハハハハ！」

ギイ、と屋内へと続く扉が開いた。足を踏み入れたのは、

「お嬢様、お気を確かに！」

執事長と呼ばれる老人と、

「くそっ、
いたい何だっ
てんだ！」

門番を勤める男。

「……駄目だ。完璧に狂ってやがる。……殺すしかねえ」

門番が言う。執事長も渋々頷いた。

「……解りました。私は右に行きます。貴方は左に」

そして二人は少女を挟むように別れ、

「うおおおおお！」

雄叫びを上げ男は少女に殴りかかった。一瞬遅れて老人も掴みかかる。しかし、その一瞬の遅れが二人の命を奪う。二人が行動した瞬間に少女は笑いを止め、男の喉元に左手のナイフを刺したのだ。

喉元に刺さったナイフを抜き、一瞬後に遅れてきた老人の右目に突き刺す。

「……っ！？」

老人は右目を抑えて声にならない悲鳴を上げ、天を仰いだ。その喉元を右手のナイフで刺した。引き抜く。血を撒き散らし、老人は倒れた。

後ろを向く。男は血を流しながら倒れていて、ピクリとも動かない。

老人の右目からナイフを引き抜く。栓になっていたナイフが抜か

れたため、血が噴水のように溢れる。その噴水を見て、少女はまた
嗤う。

「アハハハハハハハハハ！」

〔少女視点〕

少女は嬉しかった。女中はみんな殺したし、コックもみんな殺した。執事も執事長の孫も殺した。門番も執事長もたった今殺した。両親とその他大勢は旅行中。だから、今この大きな家にはわたし以外誰も居ない。昔からこの大きな家に一人で暮らしてみたいと思っていた。今、その夢が叶う！少女は狂っていた。故に、人を殺した事を微塵も悪いと思っていない。唯、笑うだけ。

「アハハハハハハハハハ！」

ドン。

後ろから衝撃。突然の事にバルコニーの縁に立っていた少女は踏ん張れず、そのまま落ちる。

なんで？

少女はそう思って体を捻り、後ろを見る。

犯人を見て、少女は思い出した。

——ああ。

——そういえば、孫は二人居たんだっけ。

〔彼女視点〕

グシヤリ、と音が下から響いた。

その音に私は身を震わせた。

何もあそこまでする必要はなかった。ふと目が覚めて、横を見ると妹が死んでいて。廊下に出たら女中の人も死んでいて。それで混乱して、頭を冷やそうとバルコニーに来たら、両手にナイフを持った少女が笑っていて。横にお爺ちゃんや男の人が血を流して倒れていて。それで彼女がやったんだって理解して。そして突き飛ばした。呻き、私は頭を抱える。人を、殺した。

「どうしよう……」

人を、殺した。そればかりが頭の中を駆け巡り、だから後ろの気配に気づけなかった。

ザク。

「……え……？」

気が付けば背中を刺されていた。ドサリとうつ伏せに倒れる。首を捻って後ろを見る。

「……なん、で」

そこには先程、殺したと思っていた、少女が居た。少女は私の問いに答えず、ナイフを振りかぶり、振り下ろした。ザシュ。

〈少女視点〉

運が良かったとわたしは思った。落下した所に落ち葉が積もっていてそれがクッションになり助かったのだ。体を捻った状態も良かった。左腕がもう一つのクッションになってなかったら幾ら落ち葉のクッションでも死んでいたかもしれない。そう思いながら、目の前に倒れている、彼女を見る。

——これで、全員。もうこの家にはわたし一人しか居ない。——自由だ！ 自由自由自由自由自由自由自由自由自由自由！

笑いそうになるのを堪えながら、わたしは血が滴るナイフをカラン、と床に落とす。踵を返し、屋内に入るため、扉に向かった。

——退屈だからそこら辺の死体の目でも刺していよう。そして眼球を取って脳髓を弄ろう。ああ、さぞかし楽しいだろう、愉快だろう！

……ああ、その前に。

……足を止め、空を見る。

蒼い月は今まで見た月の中でも一番奇麗で美しかった。

（後書き）

拙いと思いますが宜しく願います。

2月28日、視点少女、彼女、視点無しと少々加筆。逆さまの蝶さん、ご指摘ありがとうございます！

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n7018j/>

Azure full moon ~ ソライロマンゲツ ~

2011年1月27日09時13分発行